

令和6年度内閣総理大臣賞受賞者受賞理由概要
園芸部門

合理的な生産・経営で高収益を実現

○氏名又は名称 山田 裕也

○所 在 地 愛知県豊川市

○出 品 財 経営（スプレーギク）

○受 賞 理 由

・地域の概要

愛知県豊川市は愛知県の東部に位置し、名古屋市の東南約60kmに位置する。北西部は三河高原から連なる山岳丘陵地を形成し、奥三河を源とする豊川沿岸の沖積低地は肥沃な耕地となっている。冬季は晴天日が多く、日照時間も比較的長いことから、施設園芸が盛んとなっている。

・受賞者の取組の経過と経営の現況

親元就農以後、12年間で生産規模を2倍まで拡大するとともに、施設利用率の向上やスマート農業の導入による単収向上、作業の機械化による労働時間削減、パートタイマーの効率的管理に取り組んできた。その結果、売上は右肩上がりに増え続け、令和5年には就農時の約5倍となる1億円を達成した。

・受賞者の特色

（１）合理的な栽培体系の確立

1作当たりの栽培期間を短縮させる技術や定植株数の増加による施設利用率の向上、統合環境制御装置などのスマート農業技術の導入、気化冷却装置の導入による定植苗の安定生産により、年間作付数を3作から4.5作とすることなどで単収を就農時の約2倍までに向上させ、大規模生産でありながら全国的にも類を見ない高単収を実現した。

（２）労働生産性の向上

出荷調整作業を半自動化できる「花ロボ」の他、農薬散布を省力化できる自走式防除機などの導入により、10a当たり1作当たりの労働時間を就農時から2割以上削減した。また、パートタイマーに対しては、客観的な能力評価に基づく時給の支払いにより意欲向上を図るとともに、アプリを用いた従業員のタスク管理などにより作業効率の向上を図り、労働1時間当たりの所得でみた労働生産性を就農時の1.9倍まで向上させた。

・普及性と今後の発展方向

地域内で遊休化したハウスを借り受けて規模拡大し、産地の維持・発展に貢献したいと考えている。また、作業工程の見直しによる無駄の排除や機械の導入をさらに進め、労働生産性を他産業並みに引き上げることで、新たな担い手の確保にも努めたいと考えている。